

高崎山 メンバーズ クラブ会報

2009.10

No.56

Takasakiyama
MEMBER'S CLUB
kaihou



写真提供 岩切 貴世子さん

この子は双子？

今年には172頭の赤ちゃんザルが誕生しました。今年の出産期に2回赤ちゃんザルを産んだサルがいるようなのです。そのサルの名前は「シヨン」(C群)といいます。6月22日にシヨンが生まれたばかりの赤ちゃんザルを抱いているのを確認し、出産記録に記入しました。そして、その4日後にシヨンが赤ちゃんザルの死体を抱いているのを確認しました。死んでしまったのです。その後、2日間死体を抱いていましたが3日目以降は死体を抱いてきませんでした。高崎山のサルは赤ちゃんザルが死亡すると、ほとんどの母ザルは死体を抱いて歩きます。

ところが、7月12日シヨンが赤ちゃんザルを抱いてサル寄せ場へ出てきたのです。私たちは「本当にこの赤ちゃんザルはシヨンの子なのか？他の母ザルが出産した子を誘拐したのではないか？」と疑い、シヨンの産道を確認すると産道は開いており、シヨンの子に間違いないだろうと確信しました。

しかし、わずか20日間で子どもを2頭産んだサルは高崎山で今までに確認されたことはありません。ニホンザルはおおよそ6か月程度の妊娠期間が必要です。最初の6月22日に産んだ子の時は産道まではチェックしていなかったため、他の母ザルから誘拐した可能性があります。ただ、6月22日に産まれた子にもへその緒がついており、生まれた直後の赤ちゃんザルを誘拐するという事はほとんど考えにくい出来事です。

そしてもう1つの推測がシヨンのお腹の中では双子であったということです。この推測の場合、果たして双子の一方を20日も遅れて出産することがあるのか疑問です。

そこで専門家に聞いたところ、これまでそのような例はないが可能性としてはあり得るとのことでした。

誘拐したのか、それとも双子だったのかいずれにしても不思議なことです。

ただはつきりしているのはシヨンが今大事に抱えている赤ちゃんザルがすくすくと育っているということです。



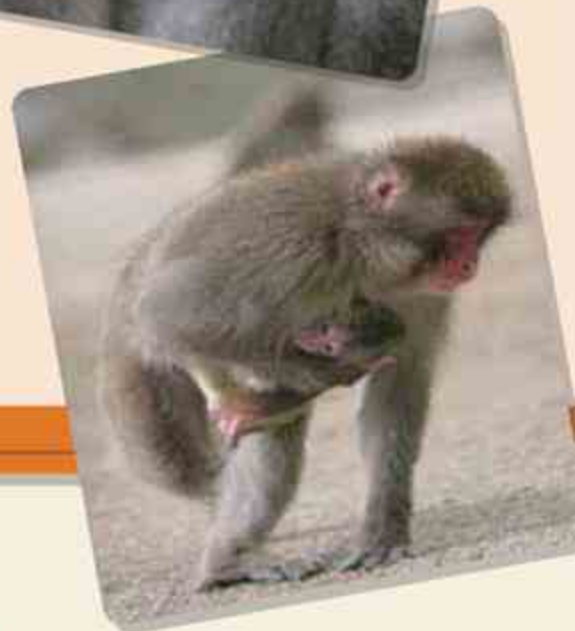
名前が決まりました!!

前回募集した手を怪我した赤ちゃんザルを育てている母ザルの名前が「タカコ」と決まりました。

お客様から「自分も右手をなくして同じ気持ちになります。ぜひ自分のことを育ててくれた母親の名前をつけてほしい」とお申し出があったからです。

赤ちゃんザルは生後4ヶ月になりました。「タカコ」は子育てを頑張っています。赤ちゃんザルも高崎山保育園で同級生と一緒に元気良く遊んでいます。

「タカコ」と赤ちゃんザルに会いに来てくださいね。



C群第3位「ナベ」 27才の旅立ち!



C群の第3位「ナベ」が今年正式にB群に移籍しました。オスザルが群れを移籍するのはよくあることですが、ナベの場合は他のオスザルとは違う行動をしていました。

ナベは2年ほど前から、発情期になるとB群へ彼女を探しに出かける行動が見られていました。しかし、発情期が終わるとC群に戻り何食わぬ顔で生活していたのです。今年は発情期の前からB群とC群で二重生活をしていました。しかし、さすがに疲れてきたのか、群れを変えB群に移りました。

皆さんは、「もうすぐ第1位の座につけたのに」と思うかもしれませんが、ナベは男として生きてゆく道を選んだのです。(自分の遺伝子をより多く残すためにオスザルは群れを出ていきます)

B群の中では、新参者となりサル寄せ場に餌を食べに行くことすら許されない厳しい生活ですが、力強く頑張っています。



サル物語

～ハッチ～



B群に右後足首から下がらないメスサルがいます。名前は「ハッチ」。ケンベスの娘で、2001年に生まれ現在8才です。

生まれた時は両足ともありましたが、生後1ヶ月頃山から下りてきたハッチは足首から下が皮一枚でやっとながっている状態でした。山の中で野犬に襲われたのか、何か別の原因かははっきり分かりませんが、何らかの事故に巻き込まれたようです。

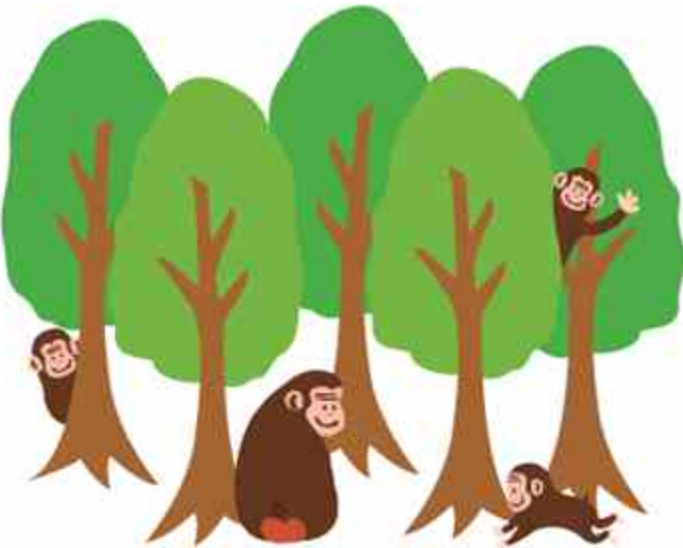
出血のため顔色は青ざめており、死んでしまうのではないかと見守っていました。(どんなに大げがをしても、母サルがいればその子サルを保護できないのです。)

しかし、ハッチは助かりました。足は失ったものの、数週間で足の傷は完治し元気にすくすくと成長しました。

今年8月10日、ハッチは初めて母サルになりました。三足歩行のため、移動する時はバランスがくずれるので右足で赤ちゃんを支えます。ハンディがあるものの、さらにたくましくなり子育てを頑張っています。ニホンサルは母系社会の為、赤ちゃんサルは母サルだけで育てなければなりません。ハッチを見ていると勇気づけられます。

2009年

個体数調査ボランティア募集



募集期間 11月2日(月)～11月10日(火)

調査期間 11月30日(月)～12月4日(金)

募集人数 20名

※昨年は先着順でしたが、今年は応募多数の場合抽選といたします

参加条件 調査期間、毎日参加できる方

※11月11日(水)～11月29日(日)までの間に1週間ほど、サルの識別(年齢・性別)の研修に参加できる方

大分市内の小学生・中学生は入園料無料です。名札か生徒手帳を見せて入園して下さい。

ご意見・ご要望をおまちしています



国立公園

高崎山自然動物園

〒870-0802 大分市神崎3098-1

Tel.097-532-5010 Fax.097-536-2500